

2010.11

Topix

客人をもてなす空間 ……たまには野外でお茶会を

■ 「楽しい」環境へのとりくみ

環境問題というと、悲観的な未来予測だったり、難解な技術論だったり、おまけに最後はお説教で締めくくられたりして・・・「大事なことだと分かっているけど、できればご遠慮願いたい」という方も多いのではないのでしょうか。

でも、自然環境のありがたさがわからなければ、環境を守ろうという意識も湧きません。肩ひじをはずす、戸外での活動を楽しむというのも、環境問題への取り組みの1つと考え、今回は造形表現学科の「客人をもてなす空間」をご紹介します。



「おさかな天国」
7人グループにより制作。
クジラの予定がカサゴになった。



■ 「客人をもてなす空間」とは

造形表現学科2年生の実習課題として夏休みの5日間を利用して実施し、8グループ、43人が参加しました。

実習科目「インテリアデザイン基礎」の延長上である本課題では、客人をもてなす為の居心地や機能を考えてデザインします。それとともに、グループによる制作、竹という自然素材を扱う体験的な活動によって、単にデザイン能力を養うというより、人間力を養うことを主眼としています。

「ほらあな」
5人グループにより制作。
講評では布の再考が求められた。

■ 参加者の感想・先生の講評

参加した学生の感想としては、「自分たちにこんなのがつくれるとは最初思わなかった。」「竹が思う様にならなかった。道具を扱うのが難しい。」「グループ制作が大変だったけれど楽しかった。」「出来上がった作品に人が来て、ほめられたのがうれしかった。」などであった。

自分たちで汗水流し、失敗もして作り上げていく達成感はひとしおであった様で、今の学生にこうした体験はとても大切なことです。

造形表現学科 准教授 手嶋 尚人



「スカイドーム」
3人グループにより制作。
幾何学的な美しさを持った作品。精度良し。

☺️ 客人をもてなす空間 ☺️

